

質疑応答にもっと時間を取っても良いのではないかと折角の意見を途中で打ち切るのはいかがなものでしょうか？

(藤久保 50代 男性)

議会がだいぶ身近に感じられるようになりました。近い存在にしないでほしいのだと理解できました。(藤久保 50代 男性)

頭をあまり使わない生活になってしまい、毎日なんとなく生活をしていましたが、今日廣瀬教授のお話を聞き、これではいけないと感じました。これからは議会等を見に行きもっと住み良い三芳町にならなければと思いました。(藤久保 60代 女性)

町のことに興味をもちました。このような学習会はどんどん開いてほしいです。町がよくなることには少しずつでも協力・参加していきたいと思えます。議会を傍聴したこともなく無知でした。逆に議会って今さらこのような条例を作らないと効果的に回らないのか、回っていなかったということを知り、驚き、ま

学習会のアンケートの一部を掲載させていただきます

すます住民参加をよぎなくされる時代なのだなという残念な気もしました。

(藤久保 40代 女性)

議会基本条例が何故必要かを考える事が必要だと思います。勉強になりました。

(藤久保 70代)

非常に良い学習会であった。三芳町も早く改革してほしい。(上富 60代 男性)

議会改革に取り組まれておりますことに感謝いたします。住民参加と住民自治は切り離せません。より良いものを制定できるよう願っております。(藤久保 50代 男性)

廣瀬先生のお話は分かりやすく勉強になりました。もう少し自分が勉強していればきっと先生におしえていただきたいことが頭いっぱいにかんできると思うのですが残念ながらそこまでに至っておらず、これから少しずつ学んでいきます。(北永井 50代 女性)

10/3(土) 19:00 ~ 21:00 藤久保公民館

議会改革公開学習会を開催しました



議会改革公開学習会のため、鶴瀬・みずほ台駅でチラシを配布しました



当日は約60名の住民の皆様のご参加をいただきました。議員による議会改革の取り組み報告では、今まで行ってきた夜間議会・休日議会・議会報告会・議会だよりの内容に関する事などの報告をしました。次に、廣瀬克哉氏による「自治体議会改革の課題と議会基本条例の意義」の講演があり、他議会の基本条例制定の取り組み内容や、制定後の課題などを分かりやすく説明していただきました。意見交換では、住民の方の町や議会に対するご意見・ご要望をいただき、議会改革を進める上で大変参考になりました。

議会改革がめざすもの

「議会」は何をしているの？ 必要なの？ 三芳町の議員も、議会が「住民の方に見えていない」と感じています。そんな中、地方分権が進み、住民自治による意思決定機関としての議会の役割が重要になっています。今まで担ってきた議案の審議や行政の監視だけではなく、中長期の財政把握や政策提言が必要です。とはいえ住民の意見を聞かぬまま、議会が勝手に結論を出すべきことではありません。三芳町の将来ビジョンとまちづくりは、住民、行政、議会との意見交換から決めるものです。議会が「見えていない」状態では一足飛びに意見交換はできないと、まず議会を見ていただくことから動き出しました。平成19年から検討を始め、20年はできることから実施しました。

- ① 行政との緊張感を増し、時間を有効利用できる対面式の一般質問席を設置 ----- 平成20年6月議会
- ② 議会傍聴の機会を広げる夜間議会（一般質問）を開催 ----- 9月議会
- ③ さらに休日議会（予算案の歳出＝支出の質疑）を開催 ----- 平成21年3月議会
- ④ 3月議会の報告（予算等）と、住民の方と意見交換を行うために議会報告会を開催 ----- 4月25日
- ⑤ 「議会基本条例」「議員政治倫理条例」を制定するために議会改革特別委員会を設置 ----- 4月議会
- ⑥ 公開学習会「自治体議会改革の課題と議会基本条例の意義」を開催 ----- 10月3日

上記を行う中で、これらの改革を議員個人ではなく議会として推進し、選挙で改選されても継続しなければいけないと考えました。そこで今までに実施してきたことを基にし、さらに住民の皆様が開かれた議会を実現するために「議会基本条例」を作ります。また三芳町議会には今まで「政治倫理条例」がなかったので、「議員政治倫理条例」も併せてつくります。「議会基本条例」や「議員政治倫理条例」には住民、行政や法律の専門家のご意見を取り入れて、議会改革に役立つものにします。住民の皆様にとって議会がより意味ある存在となるとともに、対話の推進で議会を活性化していきます。今後も委員会の傍聴、意見交換会やミニフォーラムなどを考えておりますので、ぜひご参加ください。

平成20年度の補助金（政務調査費）をお知らせします

(単位 円)

会派名	大空 (4人)	公明党 (3人)	ネットワーク三芳 (1人)	21クラブ (2人)	みよしクラブ (1人) 20年4月結成	民主党 (1人)	共産党 (3人)	ウイング (1人) 20年4月解散
収入								
① 政務調査費	240,000	180,000	60,000	120,000	55,000	60,000	180,000	5,000
支出								
調査研究費	113,210	99,000	28,303	85,581	0	61,458	83,463	0
研修費	65,314	0	10,464	0	0	0	8,270	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費	8,980	19,500	1,050	0	50,000	0	21,078	0
事務費	0	7,398	2,480	0	0	0	0	0
② 合計	187,504	125,898	42,297	85,581	50,000	60,000	112,811	0
収入支出差引残額								
返還額＝①－②	52,496	54,102	17,703	34,419	5,000	0	67,189	5,000

- 調査研究費…会派が行う町の事務及び地方財政に関する調査研究に要する経費〔調査先謝礼、交通費、宿泊費、昼食代等〕
- 研修費…会派が行う研修会、講演会の実施に必要な経費並びに他の団体(政党に係る団体を除く)が開催する研修会、講演会の参加に要する経費〔会場借上料、資料印刷費、講師謝礼、参加費、交通費、車借上料、宿泊費、昼食代〕
- 会議費…会派が調査研究のため開催する会議に要する経費〔会場借上料等、資料印刷費〕
- 資料購入費…会派が行う調査研究のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 事務費…会派が行う調査研究に係る事務遂行に必要な経費〔事務消耗品、通信費〕

議会活動日誌

8月

- 5日 入間東部地区消防組合議会総務常任委員会
- 10日 議会改革特別委員会
- 17日 議会運営委員会
厚生文教常任委員会
- 27日 議会運営委員会
- 30日 第10回入間東部地区合同消防訓練

9月

- 1日～16日 第5回三芳町議会定例会
- 2日 議会改革特別委員会
- 3日 全員協議会
総務建設常任委員会
厚生文教常任委員会
- 8日 夜間議会
- 14日 入間東部地区衛生組合議会議会運営委員会
- 18日 入間東部地区衛生組合議会第2回定例会
- 24日 埼玉県議会 議員政策研修会
- 25日 入間東部地区消防組合議会議会運営委員会
議員政治倫理条例作業部会

10月

- 2日 入間東部地区消防組合議会第2回定例会
- 3日 議会改革公開学習会
- 9日 議会だより編集委員会
議員政治倫理条例作業部会
- 13日 議会基本条例作業部会
- 16日 埼玉県町村議会議長会議員研修会
議会改革特別委員会
- 19日 議員政治倫理条例作業部会
- 21日～22日 厚生文教常任委員会所管事務調査
- 28日 入間郡町村議会議長会議員研修会
- 29日 入間東部地区消防組合議会議員研修

次の議会定例会は
11月30日(月)
開会の予定です。

皆様の傍聴を
お待ちしております。

傍聴される方は、必ず6階議会事務局
で受け付けをお願いします。
FAX・メール等による、ご意見・ご要望もお待ちしております。

**表紙写真
募集します**
 12/25(金)締切

今回の議会だより第135号(平成22年2月1日発行 発行部数 約15,000)の表紙写真を募集します。
 テーマは「三芳町の写真」です。三芳町に関する写真であれば何でも可。
 詳しくは三芳町ホームページ→三芳町議会でご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。皆様のご応募お待ちしております。

編集後記

サモア沖地震に続きスマトラ島沖地震による甚大な被害に対し被災者の皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます。

平成7年の阪神淡路大震災では、道路・水道・電気などの都市機能が麻痺し、消防機関など防災機関の活動は困難を極めました。しかし地域の方々が、自発的に初期消火や救出・救援活動・避難所の運営を行った地域では、被害を最小限に抑えることができたといわれています。

また、避難所での生活や復興作業にも地域力が大変重要で、自分たちの地域は自分たちで守るという自発的な防災活動を行う自主防災組織の役割は大変大きいものがあります。

「備えあれば憂いなし」あらゆる災害に対応し、総合的な防災体制が今ほど求められております。我が家は大丈夫かな……。

議会だよりの表紙が、今号から公募となり一新しました。多くのご応募お待ちしております。

議会だより編集委員会
副委員長 岩城

- 委員長 菊地 浩二
- 副委員長 岩城 桂子
- 委員 神田 順子
- 委員 高橋 忠一
- 委員 光下 重之
- 委員 秋坂 豊